

千の虫とて相乗るが由

おの東の柱箱おそしきりきしん片  
ルちもものじ、ゆゆくに立つかどかど  
おとるますが、こにかくゆ目にわかちま。

もし、ゆ用に立ててろしをゆ、校匠の  
ゆすけの上りこはの箱ゆ送ちま  
りこまゆとま。

七月三十一

萩勇吉



神奈川五太舟外山内

萩一里井原十水